

平成30年度 第3回総合教育会議

平成31年2月22日
高梁市役所3階大会議室2・3

1

園における 特別支援教育の充実 ～就学前教育を考える会 中間報告～

学校教育課

2

事業等提案

- ①職員研修
- ②相談業務
- ③職員配置
- ④特別支援学級・通級教室設置
- ⑤個別の教育支援計画の作成と活用

3

検討内容

- ①職員研修
- ②相談業務
- ③職員配置
- ④特別支援学級・通級教室設置
- ⑤個別の教育支援計画の作成と活用

4

検討内容

- ①職員研修 … 公立・私立共参加可能
スキルアップにつながる研修計画
専門指導員派遣型研修
2部制・休日等の実施
外部研修
(岡山県総合教育センター等)

5

検討内容

- ②相談業務
カウンセラーの派遣等により
職員や保護者の悩みを軽減する
課題を園内で解決する方法を学ぶ

6

検討内容

- ①特別支援教育推進センター：職員研修
：相談業務
- ③職員配置
- ④特別支援学級・通級教室設置
- ⑤個別の教育支援計画の作成と活用

7

検討内容

- ①特別支援教育推進センター：職員研修
：相談業務
- ③職員配置 ⇒ 削除
- ④特別支援学級・通級教室設置
- ⑤個別の教育支援計画の作成と活用

8

検討内容

- ①特別支援教育推進センター設置：職員研修
：相談業務

職員配置

- ②特別支援学級・通級教室設置
- ③個別の教育支援計画の作成と活用
- ④制度・支援に係る事業の可視化
- ⑤客観的な評価のための研究・創設

9

部活動のあり方を考える会 中間報告

学校教育課

10

事業概要と現状

スポーツ庁 (H30.3)

『運動部活動の在り方に関する総合的な
ガイドライン』

岡山県教育委員会 (H30.9)

『運動部活動の在り方に関する方針』

市町村教育委員会は
「設置する学校に係る運動部活動の方針」
を策定する

11

事業概要と現状

文化庁 (H30.12)

『文化部活動の在り方に関する総合的な
ガイドライン』

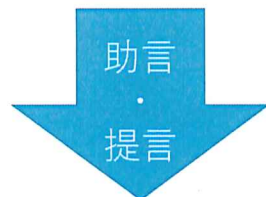
市町村教育委員会は
「設置する学校に係る文化部活動の方針」
を策定する

12

事業概要と現状

高梁市

『部活動のあり方を考える会』設置



「高梁市 部活動の在り方に関する方針」

13

事業概要と現状

『部活動のあり方を考える会』

- (1) 学識経験者
- (2) 市議会議員
- (3) 学校関係者
- (4) P T A 代表者
- (5) 公民館代表者
- (6) 文化活動に関わる団体代表者
- (7) スポーツ団体代表者
- (8) 教育委員会が必要と認める者

※設置要綱より

14

事業概要と現状

『部活動のあり方を考える会』

第1回会議 平成31年2月19日(火)
・会長の選出、会議の趣旨説明、適切な指導時間等協議
意見交換

第2回会議 平成31年3月 5日前後
・地域との連携等協議

第3回会議 平成31年3月20日前後
・方針案の提示、決定

15

学力向上研究会(ICT活用)の成果



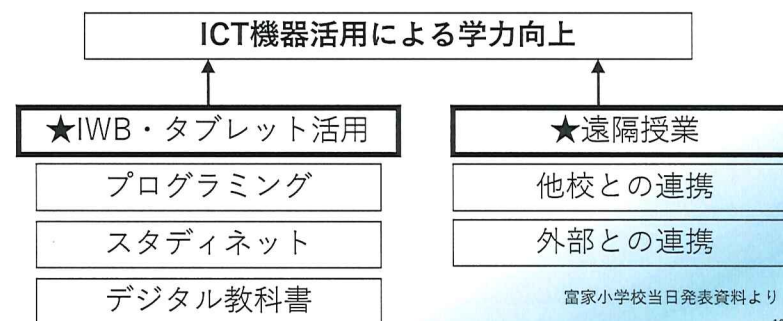
16

1 研究の目的

将来高度情報社会に生きることとなる子どもたちにとってICTを効果的に活用した学習機会を充実することが求められている。

電子黒板とタブレット端末を活用した授業や遠隔授業により、児童生徒の学習意欲と基礎学力の向上を図り、急激な社会変化にも対応できるたくましい高梁の子どもを育てる。

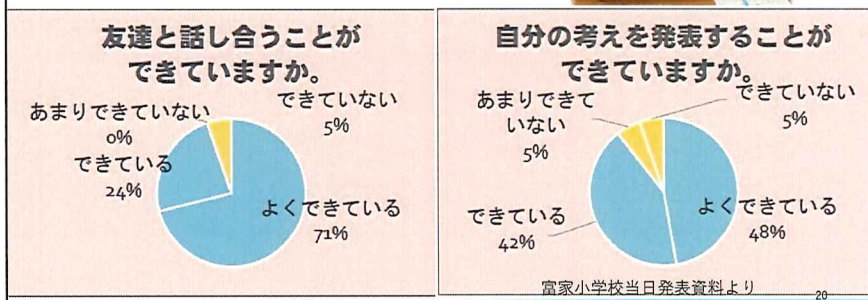
- IWB（電子黒板）・タブレット活用による説明する力の育成
- 遠隔授業による多様な意見との出会いや思考の広がり・深まりの実現



3 授業の様子（松原小との遠隔授業）



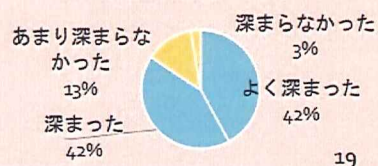
4 活用の状況と効果



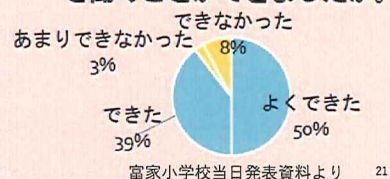
4 活用の状況と効果



Skypeを使うと、クラスだけで
する授業よりも自分の考えが
深まりましたか。



Skypeを使うと、クラスだけで
は出てこないような違う考え
を聞くことができましたか。



5 成果のまとめ

- 学習意欲の向上
- 対話の増加
- 相手意識の向上
- コミュニケーション力の向上
- ICT機器への意識改善
- ICT機器を活用した授業改善
- 児童生徒の論理的思考の高まり

22

6 今後の計画

- トイドローンを使ったプログラミング体験
教職員・・・夏期研修会にて
児童・・・3校程度
- 小学校プログラミング研修会
- 電子黒板・タブレット活用研修 (新規導入校向け)

23

学区の見直し

学校教育課

24

平成19年10月（諮問）

市町合併に伴う高梁市立小学校及び中学校の通学区域のあり方について

平成19年10月～平成20年1月

高梁市立小・中学校通学区域見直し検討委員会を設置し、検討

25

平成20年2月 答申

現行の「高梁市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則」によるが、別表の地区については、地理的要因により配慮を要する地区であり、届け出により就学学校変更ができるようにすることが望ましい。

26

届出により就学学校変更ができる地区

地区名	学区	変更できる学校
・松山（広瀬、河内谷）	玉川小	→ 高梁小
・落合町原田	落合小	→ 高梁小
・落合町近似（光が丘、市場）	高梁小	→ 落合小
・玉川町玉神崎	玉川小	→ 落合小
・成羽町布寄（田原、阿部山） 成羽町中野（田原）	成羽小	→ 富家小
・成羽町坂本	成羽小	→ 富家小
・落合町福地	高梁中	→ 成羽中

27

- ・2004年の合併後も、学区は旧市町の枠組みのまま変わっていない。
- ・近くに学校があるのに通学に時間がかかっているケースがある。



- ・子どもたちの負担軽減
- ・スクールバスのコスト削減

28

- ・今後、保護者や地域の声を聞きながら、合併前の学区にとらわれず、学区の見直しに取り組む。

29

幼稚園、保育園、認定こども園の無償化について

こども未来課

30

幼児教育無償化の国の方針

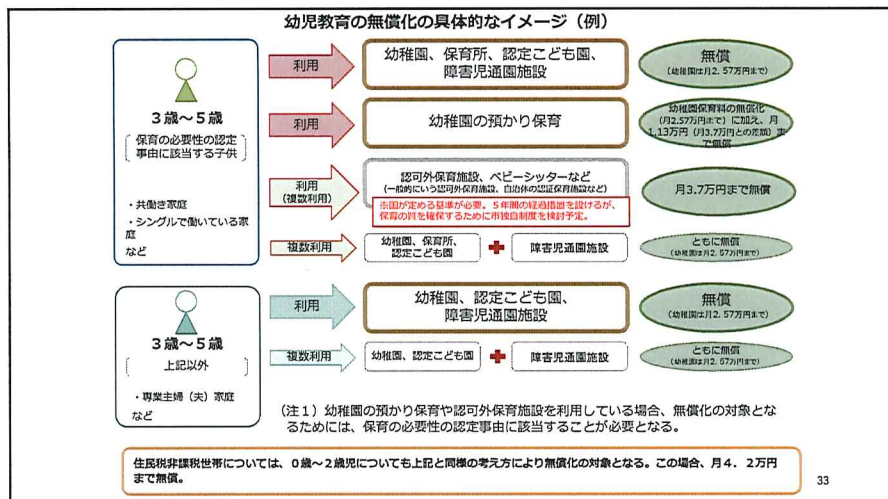
- ・「新しい経済政策パッケージ」（閣議決定）において、**消費税率引上げ時の2019年10月1日から幼児教育無償化の実施**を目指すこととされている。
- ・子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ抜本的に変えるため、幼児教育の無償化を一気に加速する。**幼児教育の無償化は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから取り組むもの。**

31

幼児教育の段階的無償化の取組み

- **平成26年度予算より段階的に無償化**
 - ・生活保護世帯の保育料無償化
 - ・年収約360万円未満相当の世帯の保育料軽減の拡充
 - ・ひとり親世帯においては、第1子は保育料半額、第2子以降は保育料無償化

32



高梁市の現状

- 現在、食材料費（主食費・副食費）を含んだ保育料を設定。
 - ・ 10月以降は、新たに食材料費の実費徴収を予定。
国の案では主食費3,000円・副食費4,500円を保護者負担として示している。
 - ・ 年収360万円未満相当の全ての世帯の子及び全階層の第3子以降の副食費を免除対象として減免制度を制定予定。
H30年度ベースで121人/526人が該当。(約23%)
 - ・ 食材料費を5,000円と想定した場合、30年度の保育料が5,000円以下の人は、59人/526人。(約11%)
- 行事費については、現在もバス遠足等の費用は、実費負担。

平成31年度利用見込み (2月14日現在)

幼稚園		136人 (3歳～5歳)
こども園	1号	30人 (幼稚園型)
	2号	123人 (3歳以上保育型)
	3号	96人 (3歳未満保育型)
保育園	2号	209人 (3歳以上保育型)
	3号	152人 (3歳未満保育型)
合計		746人 (入園率75.27%)

(就学前の子ども人口 991人)

※平成31年1月末人口

年齢別利用予定人数 (H31年度見込)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
就学前全児童数	134人	150人	187人	158人	179人	183人	991人
幼稚園申込				40人	48人	48人	136人
保育園申込	27人	59人	66人	77人	68人	64人	361人
こども園申込	16人	25人	55人	48人	54人	51人	249人
合計	43人	84人	121人	165人	170人	163人	746人
未就園児数		223人			22人		245人

※人口：平成31年1月末現在

※各園の利用予定児は4月1日時点の年齢でクラス分け。

※未就園児数については、誕生日の関係上、3歳以上・3歳未満でカウント。

成羽子ども園の歌

作詞 吉川 裕美
作曲 吉川 昭

緑の山に 囲まれた
かぐらの町の ことも園
にここに 笑顔が 集まって
今日は 何して 遊ぼう
ランランラン ランランラン
楽しいな
みんな 大好き 成羽子ども園
ぐんぐん

花いっぱい 丘の上
小鳥も風も 歌ってる
ぴかぴか 笑顔が 集まって
今日は 何して 遊ぼう
ランランラン ランランラン
楽しいな
みんな 大好き 成羽子ども園
ぐんぐん